

<b>議 案 名</b>	<b>富士見市新庁舎整備基金条例の制定について</b>
<b>制 定 趣 旨</b>	新庁舎の整備に必要な経費の財源に充てるため、新庁舎整備基金を設置するものです。
<b>制 定 内 容</b>	新庁舎整備基金について、次の内容を規定します。  (1) 設置 基金の設置目的を定めます。  (2) 積立て 基金として積み立てる額について定めます。  (3) 管理 基金に属する現金の管理について定めます。  (4) 運用益金の処理 基金の運用から生ずる収益の処理について定めます。  (5) 繰替運用 基金に属する現金の繰替運用について定めます。  (6) 処分 基金の処分について定めます。  (7) 委任 条例に定めるものを除いた部分の委任について定めます。
<b>施 行 日</b>	公布の日

# 富士見市新庁舎整備基金条例

(設置)

第1条 新庁舎の整備に必要な経費の財源に充てるため、富士見市新庁舎整備基金(以下「基金」という。)を設置する。

(積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、次のとおりとする。

- (1) 一般会計歳入歳出予算に定める額
- (2) 基金への積立てを指定した寄附金の額

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他の最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(運用益金の処理)

第4条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して基金に編入するものとする。

(繰替運用)

第5条 市長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(処分)

第6条 基金は、新庁舎の整備に必要な経費の財源に充てる場合に限り、これを処分することができる。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。